

東芝パッケージエアコン用ドレンアップキット 取付説明書

形名 TCB-DP2801DF

- このたびは東芝パッケージエアコン用ドレンアップキットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取付の前に、この説明書をよくお読みになり正しい取付を行ってください。

お知らせ

- 本製品は、東芝エアコン 10 馬力以下の製品に取付可能となります。
- 本製品は、塩ビ管 (VP13) (現地手配) を使用しない場合は、別売断熱付ホース (TCB-DP1H20M) が必要になります。
- 出口配管が 20M を越える場合は、別売断熱付ホース (TCB-DP1H20M) が 2 個必要になります。
- 本製品は、サービス部品をご用意しておりません。部品が故障したときは、ドレンアップキットを入手のうえ、交換をお願いします。

付属部品

取付方法により、使用する部品が異なります。用途を確認し、使い分けてください。

部 品 名	個 数	形 状	用 途 ・ 備 考
取付説明書	1	(本紙)	お客様に必ず渡してください。
吊金具	2		本体を吊固定するときに使用します。
吊金具用ねじ	4		
ドレン入口継手 (上部用)	1		入口配管を上部に取り付けるときに使用します。(ゴム製)
ドレン入口継手 (側面用)	1		
側面入口配管用 塩ビ管 (VP20 300mm)	1		入口配管を側面に取り付けるときに使用します。
ドレン入口配管用断熱材 (Ø49 × 300)	1		
径違いソケット	1		側面の配管を接続時、室内ユニット側の配管径が VP25 のとき、入口配管径を VP20 に変更するために使用します。(塩ビ製)
ホースバンド	2		出口配管を固定するときに使用します。
出口配管 (断熱付ホース (100mm))	1		出口配管を塩ビ管 (VP13) に接続するときに使用します。(塩ビ製)
出口配管用ソケット	1		

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定される内容”を示します。

※1: 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



注意

△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告

- 据付は、販売店または専門業者に依頼する
ご自分で据付工事をされると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付工事は、この取付説明書に従って確実に行う
据付に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確実に行う
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
- 台風などの強風・地震に備え、所定の据付工事を行う
据付工事に不備があると、転倒・落下などによる事故の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および取付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。
- 火災・爆発のおそれがある環境では使用しない
- 東芝エアコン用以外で使用しない
- メタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りの木造造営物に取り付ける場合、製品が電氣的に接続しないようにする



注意

- 据付作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをえる原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）
- 配管は、本紙にそって確実に接続する
接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因になります。



定期メンテナンスについて

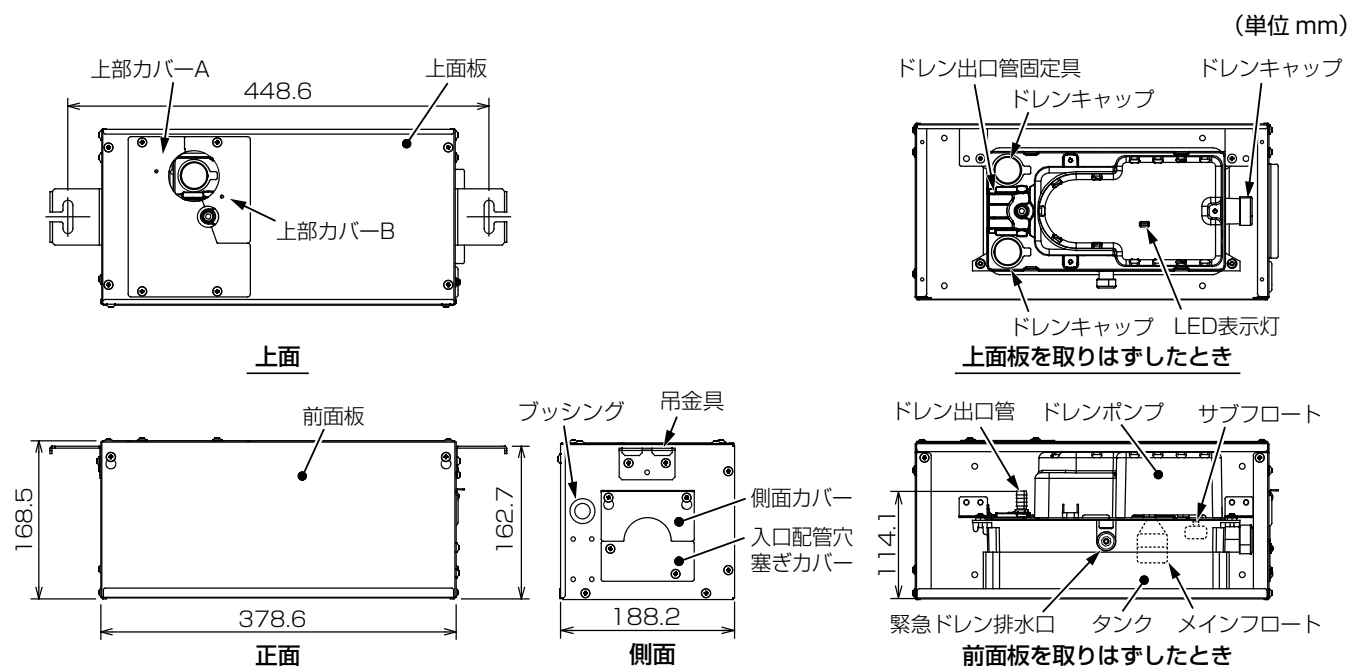
ドレンアップキットの内部清掃は、定期的実施してください。（空調機のご使用期間（シーズン）前後）
保守点検を実施しないと、油やゴミによりドレンポンプが詰まり、空調機の停止や水漏れに至るおそれがあります。
詳細は、「4. 定期点検・メンテナンスについて」をご確認ください。
メンテナンスは、お買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼してください。

据付場所について

次のような場所での使用はさけてください。ドレンポンプが詰まり、運転の停止や水漏れを起こすおそれがあります。また、ガスや油の飛沫が周囲にたまると、発火・火災および機器の変形・腐食・破損の原因になります。

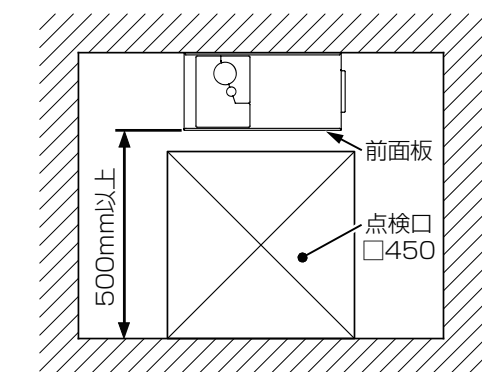
- 小麦粉・うどん粉・そば粉などの粉が浮遊する場所
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸性・アルカリ性の雰囲気のある場所
(酸性の溶液・特殊スプレーを使用する美容院・温泉地・機械工場など)
- 酢酸を大量に使用する場所
- 屋外（本製品は屋内用です）
- 火気・熱気・油などを直接吸い込むおそれのある場所
- 油の飛沫・蒸気の多い場所
- 精密機器や設備、商品などぬれて困るものの上
- 調理する場所の真上

外形寸法・各部名称

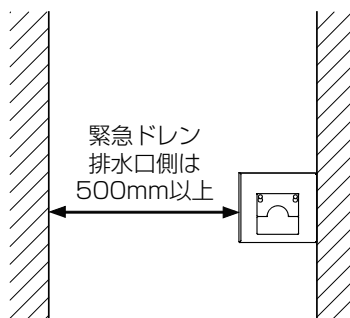
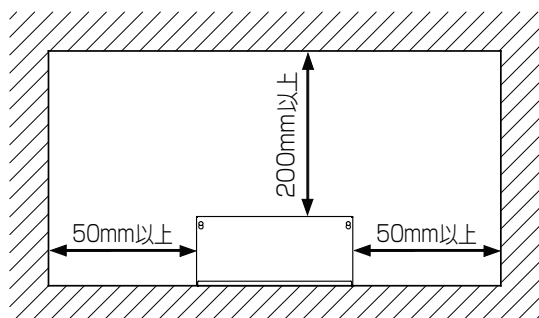


据付スペース

ドレンアップキットを天井内や壁の中に設置される場合は、下図のサービススペースを設けてください。



ドレンアップキットには、点検を行う方向がありますので、点検口側にドレンアップキット前面板を向けてください。



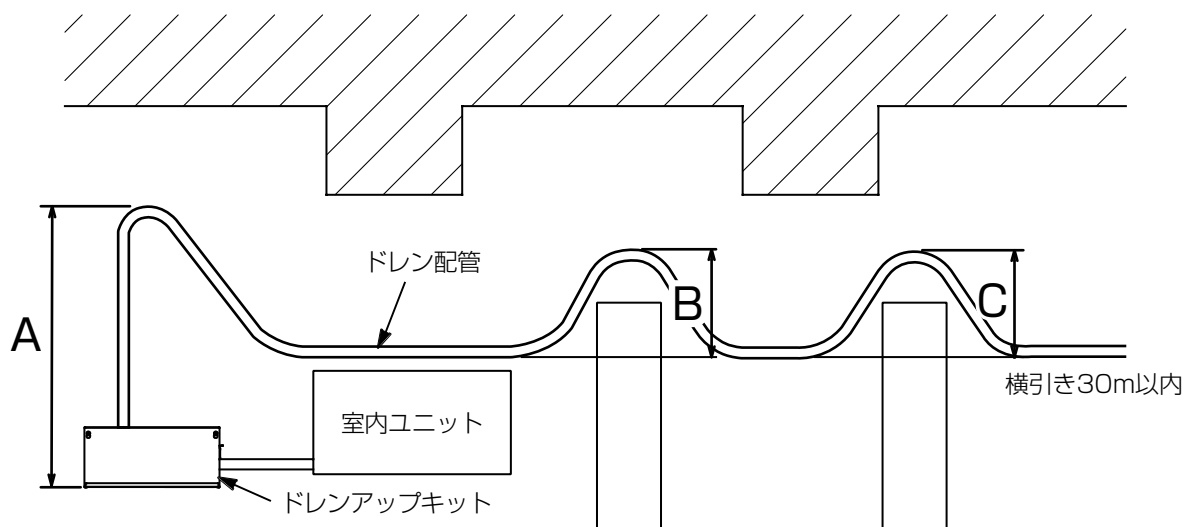
ドレンアップキットの仕様および性能表

電源 50/60Hz	単相 100V-200V
ドレンアップ揚程	5m
運転音	45dB
ドレン最大排出流量	60L/hr
消費電力	35W
重量	4.0kg
逆止弁	出口配管接続部に内蔵
ドレン上部入口	外径φ 30.5 × 2 カ所 (VP25,VP20 用)
ドレン側面入口	外径 φ 26 (VP20 用)
ドレン出口	ビニールホース (内径 φ 9 × 外径 φ 15) 接続または VP13
接続室内ユニット台数	能力ランク合計 P280 (相当馬力 10) 以下 かつ合計台数 5 台以下、 外気処理エアコンは 1 台まで 詳細は 17 ページをご参照ください。

ドレンアップ揚程の制限

ドレンアップ揚程は下記の制限があります。

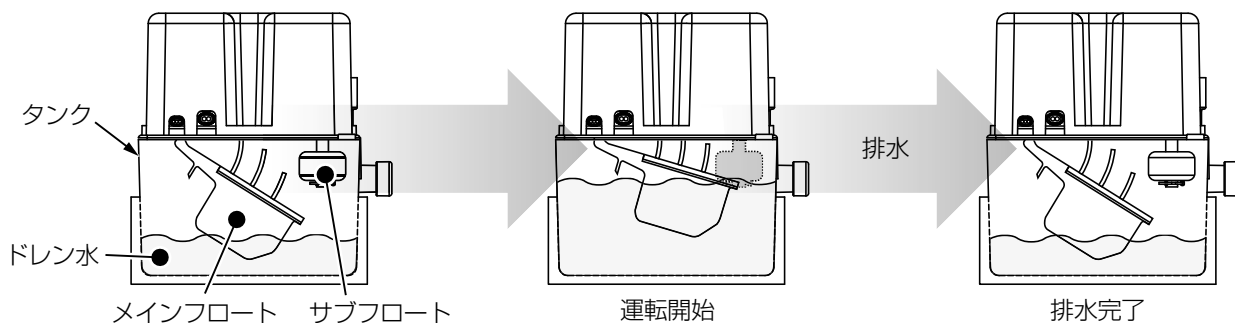
- ドレンアップ揚程 5m 以上では使用できません
- $A + B + C = 5000\text{mm}$ 以下かつ、 $A > B, C$



ドレンポンプ動作について

正常運転動作について

ドレンポンプに電源を接続し、タンク内の水位が上がると、メインフロートが上昇してスイッチが入り排水します。水位が下がるとスイッチが切れてポンプが停止します。(LED表示：緑点灯)



異常運転動作について

●メインフロートの動作について

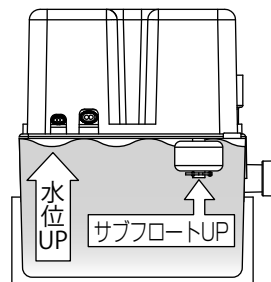
ドレンが排出されず、タンク内水位が満水近くまで上がると異常信号用スイッチが入り、接続されている室内ユニットのリモコンに「P10」が表示されエアコンが停止します。(LED表示：赤点灯)

●サブフロートの動作について

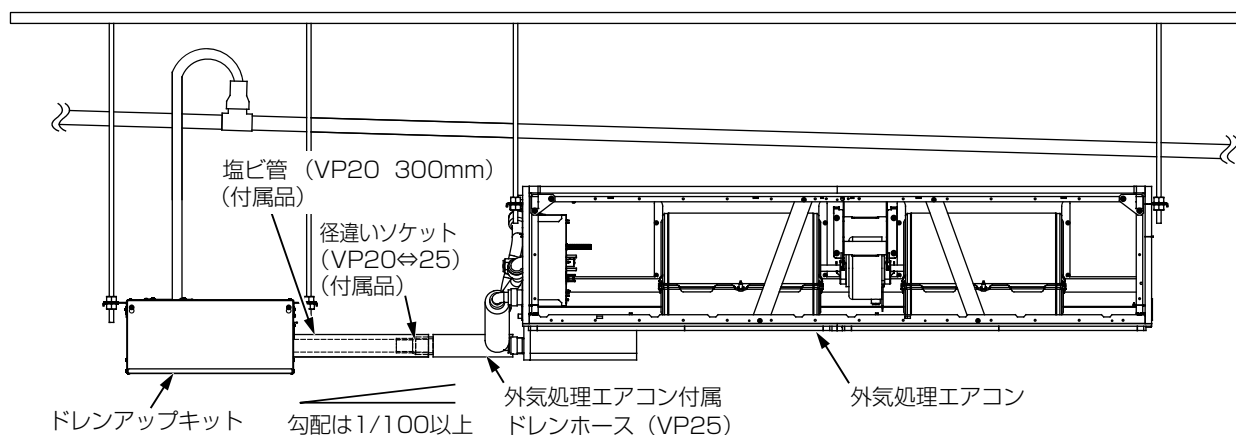
メインフロートが正常に動作しなかった場合に、サブフロートが動作して異常信号用スイッチが入り、接続されている室内ユニットのリモコンに「P10」が表示されエアコンが停止します。(LED表示：赤点滅…15分間連続運転を行っても満水状態が改善されない場合、モーターは赤点滅保持のままで強制停止します。)

●赤点灯／赤点滅解除の条件

排水が正常に行われ、タンク内の水位が下がり、メインフロートおよびサブフロートが正常に動作できる状態になると、赤点灯／赤点滅が消灯し、故障信号用スイッチが切れます。(LED表示：緑点灯)



外気処理エアコンとの接続例



1. ドレンアップキットの据付手順

ドレンアップキットを設置（固定）してください。

ねじ・ボルトは確実に固定してください。騒音・振動の原因になることがあります。

お願い

- 傾けて取り付けると、フロートスイッチが正常に作動せず、水漏れするおそれがあります。必ず水平に設置してください。
- 運転時のみ音・振動の発生があるため、オフィス・居住空間の壁・天井には取り付けないでください。
- ドレンポンプ運転時に駆動音が発生しますので、壁固定、床固定の場合は、次のような暗騒音の低い場所への設置はさけ、居住空間から離れた場所に据え付けて使用してください。
 - ・寝室・病室・ホテルなどの暗騒音の低い部屋
 - ・天井が張られてなく、室内居住空間とドレンアップキットが遮断されていない部屋
 - ・天井に開口部分がある部屋

本体の固定

本体の固定方法は3種類あります。

吊固定の場合

- ・ドレンアップキットを吊り下げたあとの配管・配線工事を考慮して、据付位置と方向を決定してください。
- ・ドレンアップキットの据付位置決定後、吊りボルトの設置を行ってください。
- ・吊りボルトピッチは、外形図に記載されています。
- ・天井が既設の場合は、ドレンアップキットを吊り下げる前に配管を接続する位置まで引いておいてください。

据付用の吊りボルトとナットと平ワッシャは現地手配してください。

吊りボルト	M10またはW3/8	2本
ナット	M10またはW3/8	6本
平ワッシャ	M10	4枚

天井の処理

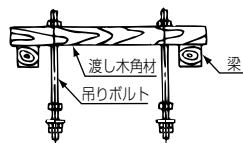
建築の構造により異なるので、詳しくは建築、内装業者と相談してください。

吊りボルトの取付

吊りボルト（2本、現地手配）はM10またはW3/8を使用します。ピッチは外形図の寸法に従い、既設構造に合わせて次の方法で取り付けてください。

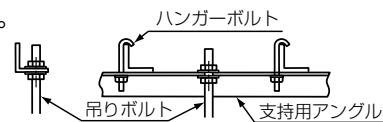
木造の場合

梁の上に角材を渡して吊りボルトを設置します。



鉄骨構造の場合

アングルをそのまま利用するか、新規に支持用アングルを設置します。



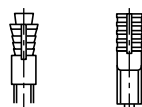
新設のコンクリートスラブの場合

インサート金具、埋込ボルトなどで設置します。

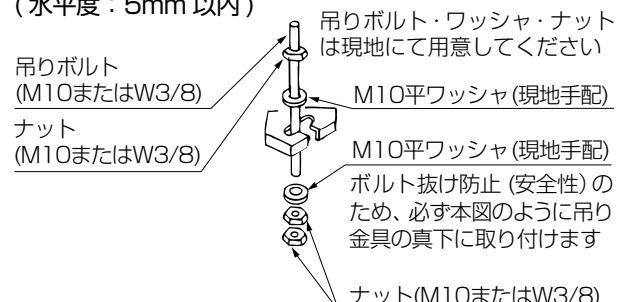


既設のコンクリートスラブの場合

ホールインアンカー、ホールインプラグまたはホールインボルトを使用します。

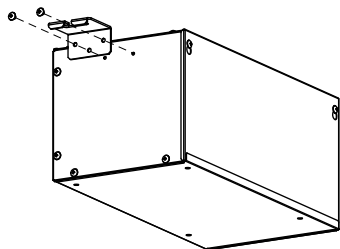


- ・吊りボルトに、ナット（M10またはW3/8：現地手配）と平ワッシャ（M10：現地手配）を付けてください。
- ・ドレンアップキットの吊り金具のT溝に、ワッシャを上下に挟み吊り下げます。
- ・四辺が水平になっているか水準器にて確認してください。（水平度：5mm以内）

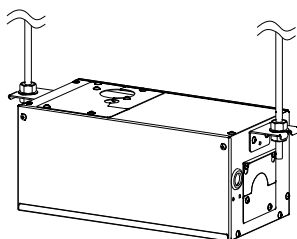


吊固定の場合(つづき)

1. 付属の吊金具(2個)を組み付けます。(ねじ: 各2カ所)



2. 下図のように本体を取り付けます。



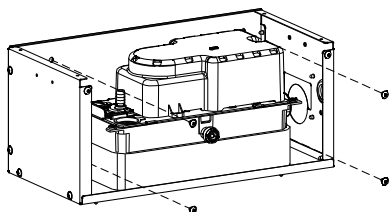
お願い

吊りボルトはM10
またはW3 / 8の
ものをご使用くだ
さい。(現地手配)

3. 前面板(ねじ: 2カ所)をはずします。

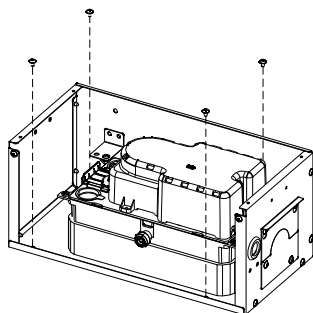
壁固定の場合

1. 前面板(ねじ: 2カ所)をはずします。
2. 下図のようにねじ4本($\phi 4 \times 25L$)(現地手配)で本体を取り付けます。



床固定の場合

1. 前面板(ねじ: 2カ所)、上面板(ねじ: 4カ所)をはずします。
2. 下図のようにねじ4本($\phi 4 \times 25L$)(現地手配)で本体を取り付けます。



3. 上面板を元の位置に戻します。

1. ドレンアップキットの据付手順 (つづき)

入口配管の取付方法

入口配管の取付方法は 上部・側面の 2 種類あります。

⚠ 注意

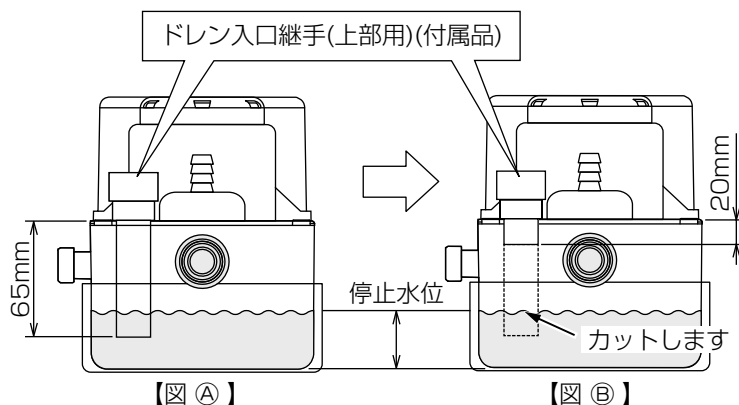
ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように断熱してください
配管工事に不備があると、屋内に水漏れし、家財などをぬらす原因になることがあります。



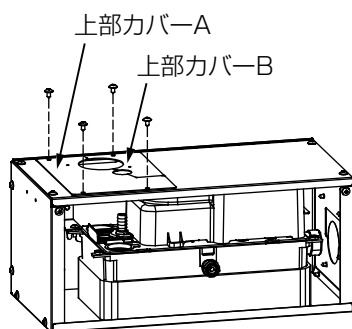
入口配管上部取付時

●取付前の準備

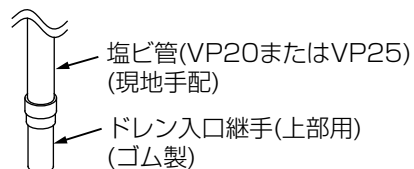
ドレンアップ機能が搭載された室内ユニットにドレンポンプを装備する場合、サイフォン現象による逆流防止のためにドレン入口継手を【図④】から【図⑤】のように変更して下さい。(付属のドレン入口継手(上部用)の挿入寸法を20mm 残し切断して挿入してください。)



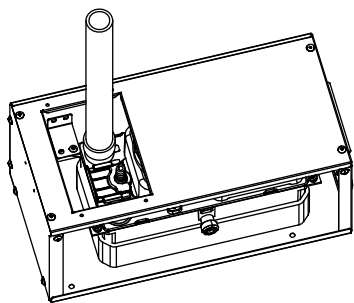
1. 上面板の上部カバー A (ねじ: 3 カ所) と上部カバー B (ねじ: 1 カ所) をはずしてください。



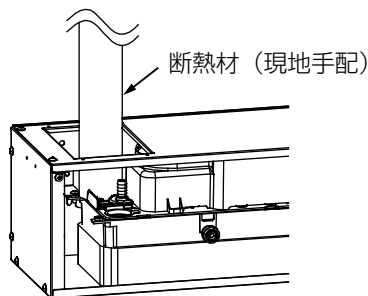
2. 塩ビ管を付属のドレン入口継手(上部用)に奥まで差し込んでください。
※接着はしないでください。



3. ドレン入口にドレン入口継手(上部用)を差し込んでください。ドレン入口は 2 カ所あり、どちらでも使用可能です。

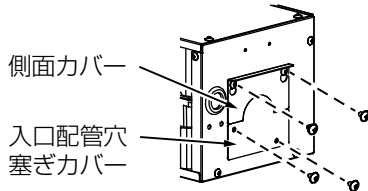


4. ドレン入口配管 (VP20 または VP25) (現地手配) を断熱材 (現地手配) で断熱してください。

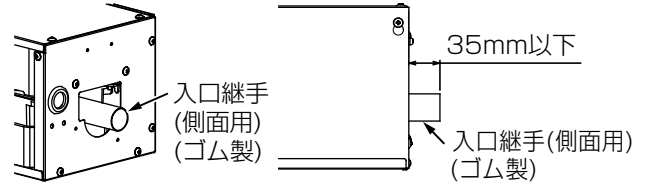


入口配管側面取付時

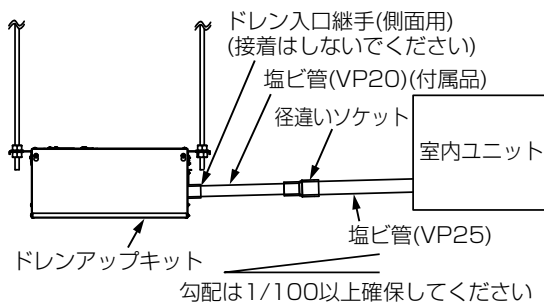
1. 右側面の側面カバー（ねじ：2ヵ所）と入口配管穴塞ぎカバー（ねじ：2ヵ所）をはずしてください。
はずした入口配管穴塞ぎカバーは出口配管の取付時に使用します。



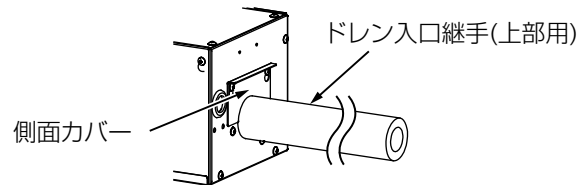
2. ドレン入口継手（側面用）をドレン入口の奥まで差し込んでください。
※接着はしないでください。



3. 付属の側面入口配管用塩ビ管をドレン入口継手（側面用）に確実に差し込んでください。設置位置に応じて塩ビ管は切断または延長（現地手配）してください。
室内ユニット側の配管が VP25 の場合、付属の径違いソケットを使用して、下図のように接続してください。
また、ドレン入口継手（側面用）は接着しないでください。

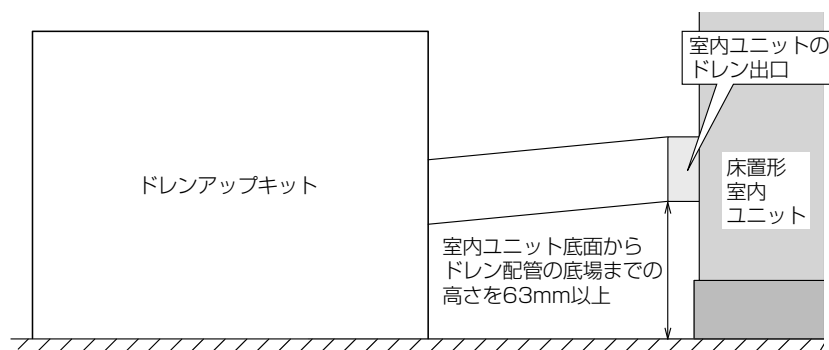


4. 側面入口配管用塩ビ管を付属の断熱材で断熱し、側面カバーを元の位置に戻して隙間を塞いでください。
配管は露出しないように断熱材（現地手配）で覆ってください。



●床固定で入口配管を側面取付するときの注意

室内ユニットからのドレン配管の底場の高さが室内ユニット設置面より 63mm 以上必要になりますので、十分な高さが取れるように室内ユニットの設置高さを調整してください。



1. ドレンアップキットの据付手順 (つづき)

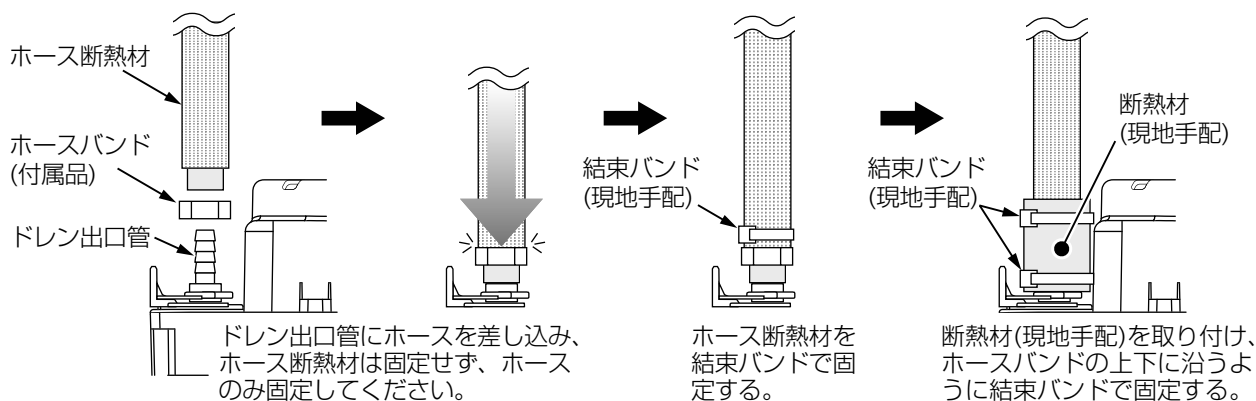
出口配管の取付方法

出口配管の取付方法は 2 種類あります。

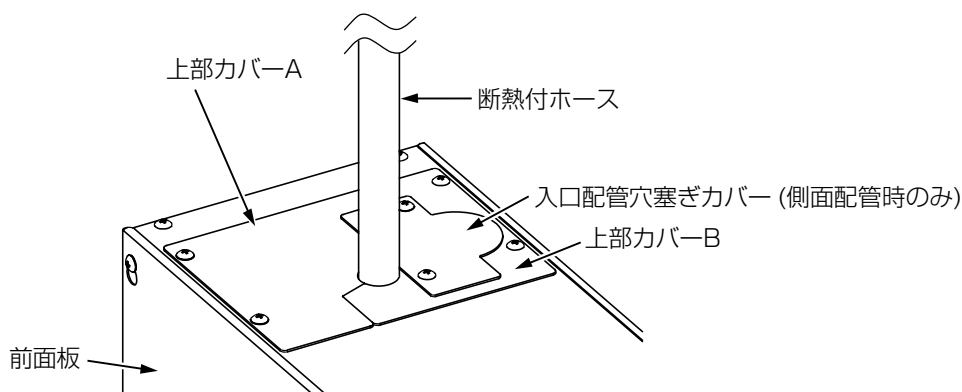
- ・別売断熱付ホース (TCB-DP1H20M) を使用する場合
- ・塩ビ管 (VP13)(現地手配) を使用する場合

別売断熱付ホースを使用する場合

1. 上部カバー A (ねじ : 3 ヲ所) と上部カバー B (ねじ : 1 ヲ所) を取りはずしてください。
2. 断熱付ホースをドレン出口管の奥まで差し込み、付属のホースバンドを使用して、断熱付ホースを固定してください。
ドレン出口管接続部を断熱材 (現地手配) で覆ってください。

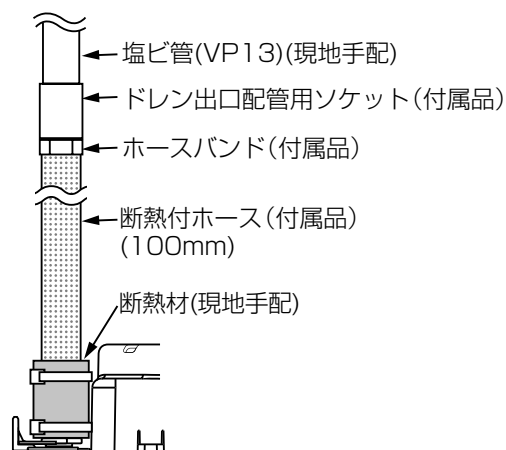


3. 上部カバー A (ねじ : 3 ヲ所) と上部カバー B (ねじ : 1 ヲ所) を隙間がないように元の位置に設置してください。
4. 側面配管時は、上部カバー A・B の入口配管用の穴を入口配管穴塞ぎカバー (ねじ : 2 ヲ所) を使用し、隙間がないように塞いでください。



塩ビ管 (VP13) を使用する場合

1. 「別売断熱付ホースを使用する場合」の 1、2 を参考に付属の断熱付ホース (100mm) を取り付けてください。
2. 付属のドレン出口配管用ソケットとホースバンドを使い、塩ビ管 (VP13)(現地手配) を右図のように取り付けてください。

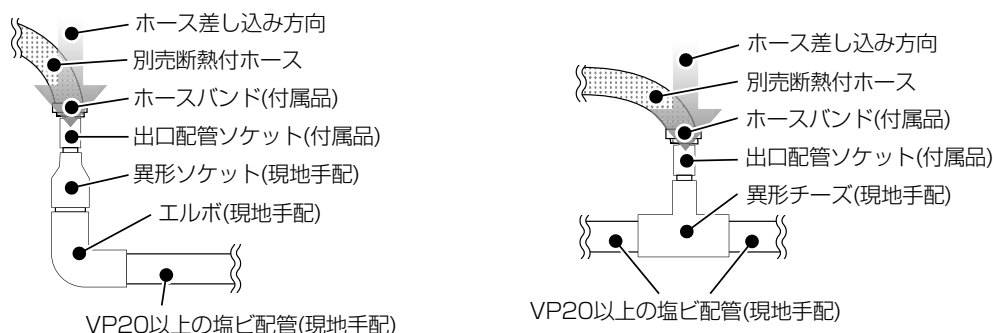


ドレンポンプからのホースを既設配管へ接続される場合について

ドレンポンプの場程は 5 m 以下 (50/60Hz 共に) でご使用ください。

ドレンポンプからのホースを既設の排水管に接続される場合、付属の出口配管用ソケットを使用し、異径ソケット・エルボ、または、チーズをご用意いただき、VP20 以上の排水管にドレンが流れ込むよう下り勾配にて施工してください。(付属の出口配管用ソケット以外は現地で手配してください。) 付属の出口配管用ソケットはホース差込口が上向きになるように接続してください。

●排水管に接続される場合

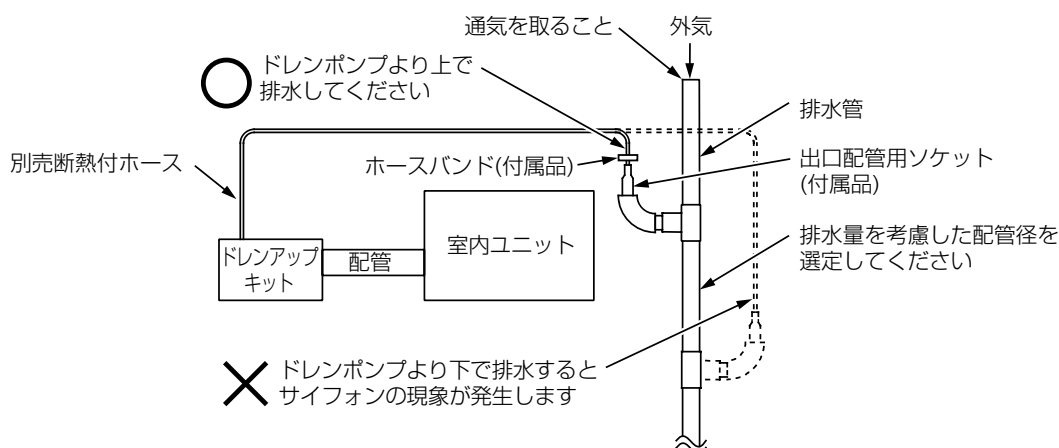


お願い

ドレンポンプからのホースをエルボ・チーズに接続する場合、必ずホースを上から接続してください。下向き、横向きからの接続はできません。(ポンプが正常に排水できない場合があります。)

出口配管処理

サイフォン現象について



別売の断熱付ホース (TCB-DP1H20M) をご使用の際は、排水するホースの末端位置をドレンポンプより高い位置で開放状態になるように VP20 以上の配管と接続してください。ドレンポンプより下へホースの末端を接続すると、サイフォン現象が発生し、タンク内の水が吸い出され、異音が発生することがあります。サイフォン現象や水が流れない状態を防ぐために、排水管の上部から通気が取れるようにしてください。通気をとらないと水が流れなくなることがあります。

立ち上げ配管に塩ビ配管 (VP13) を使用する場合

塩ビ配管 (VP13) での立ち上げ配管施工は、必ず付属の出口配管用ソケットと出口配管をご使用ください。(立ち上げの塩ビ配管は、VP13 と異なるサイズをご使用にならないでください。)

配管を垂直に立ち上げられない場合

立ち上げの途中で横引きされる場合は、下記をお守りください。

- 45° エルボを使用した曲がりは、10 ヶ所以内。
- 横引き配管可能総距離は 5 m 以内。(各横引き配管距離は 1.5 m 以内)
- 横引き配管の途中で一度下げた配管は、再び立ち上げることができません。

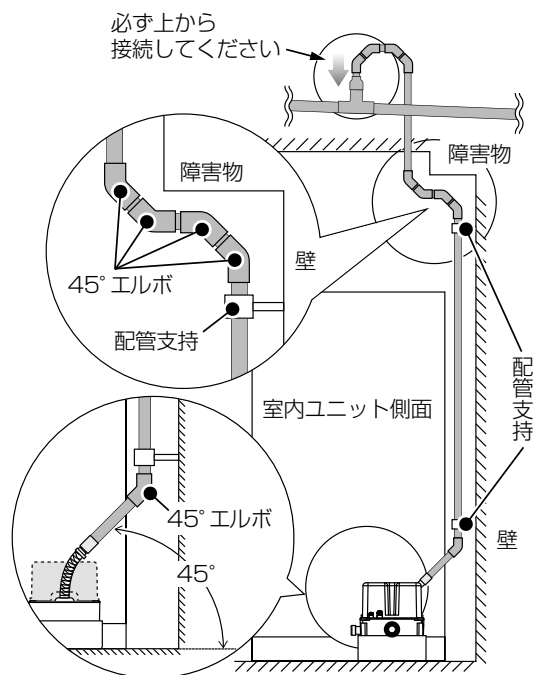
1. ドレンアップキットの据付手順 (つづき)

吐出配管が塩ビ配管での施工の場合、塩ビ配管 (VP13) を使用し、必要な高さまで垂直に立ち上げてください。

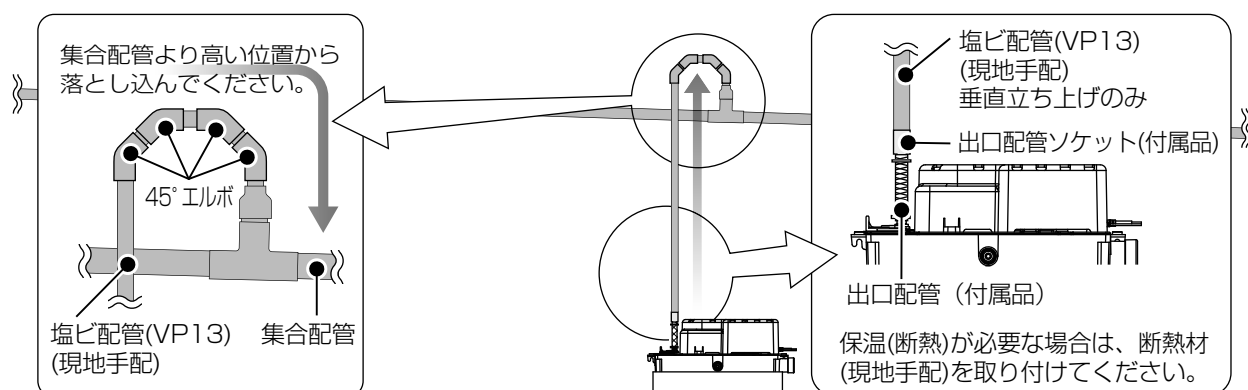
塩ビ配管での施工で配管支持や障害物などを回避する理由から垂直立ち上げの途中で横引きされる場合は、45° エルボをご使用ください。(90° エルボは配管内の抵抗や逆勾配などによる空気溜まりが発生し、正常に排水できなくなる可能性があります。)

垂直立ち上げ後、集合配管へ放水する際は、上から接続してください。

また、この場合はサイフォン現象防止のために、ドレンポンプより高い位置で放水してください。



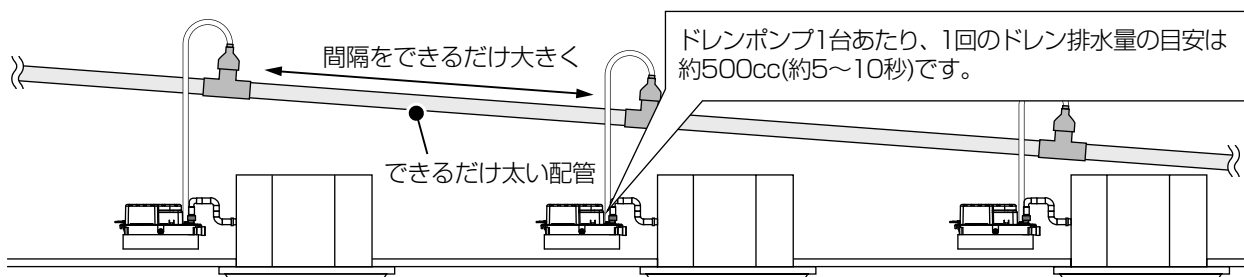
配管をそのまま垂直に立ち上げられる場合



集合配管へ接続される場合

ドレンポンプを集合配管へ接続をされる場合は、ドレンポンプとドレンポンプの間隔をできるだけ大きくし、1/50 または 1/100 の勾配をとってください。また、集合配管に複数のドレンポンプの合流がある場合は、できるだけ太い配管をご使用ください。(ドレンポンプが同時に運転した場合のドレン排水量をご考慮ください。)

集合配管への接続が原因で発生したドレンポンプの不具合は保証できません。



2. 配線接続

警告

- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。
- 漏電遮断器（過電流保護機能付き）が正しく取り付けられているか確認する
漏電遮断器が正しく取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
確認方法については、据付を行った販売店、または据付専門業者へお問い合わせください。



お願い

- 電源配線は所轄の電力会社の規定および電気設備基準に従い行ってください。
- 配線は端子台に接続したあと、トラップを取り、ケーブルクランプで固定してください。

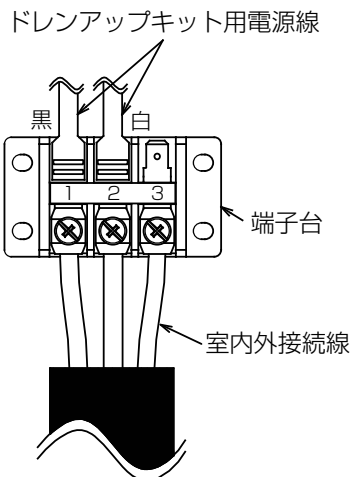
電源線

室内ユニットの端子台（単相 200V）に接続してください。

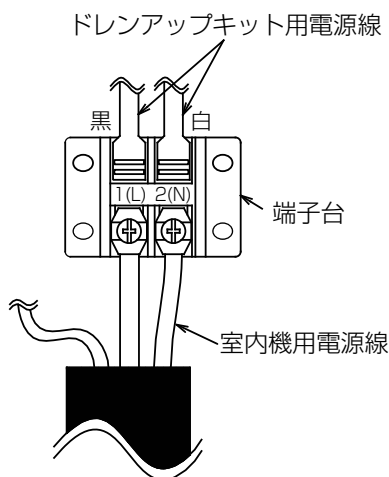
室内ユニットの端子台へ接続できない（他の別売品で使用している）場合は、単相 100-200V の常時電源が供給されるところから電源を取ってください。（本ドレンアップキットは、100V 電源でも動作可能です。）

電源線接続例

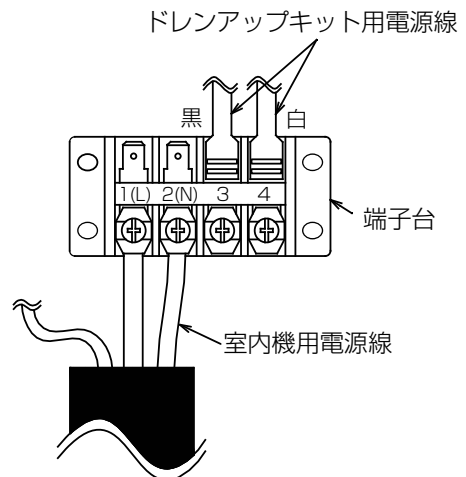
カスタム室内ユニットの場合



マルチ室内ユニットの場合



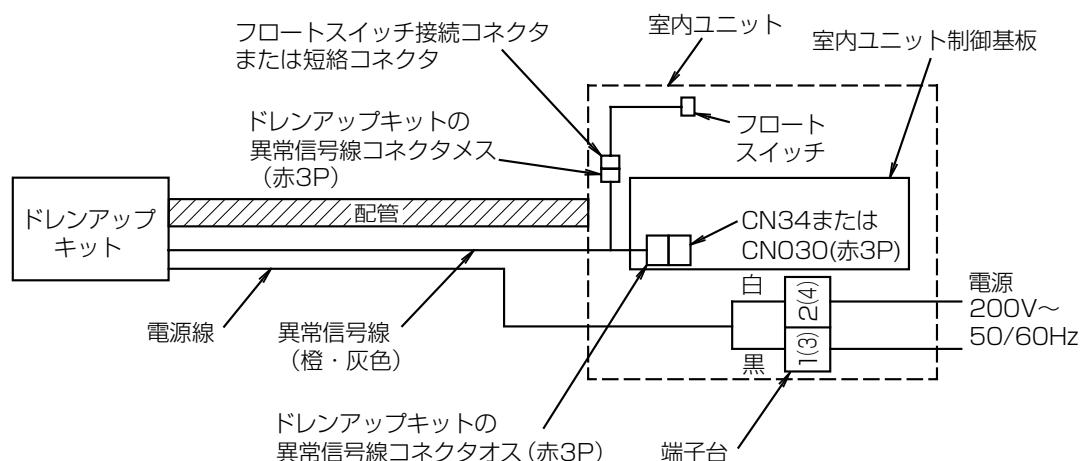
マルチ室内ユニットP224, 280形 (外気処理エアコン、天埋ダクト)の場合



2. 配線接続 (つづき)

フロートスイッチの接続

- 室内ユニット PC 板上の CN34(赤 3P) または CN030(赤 3P) からフロートスイッチ接続コネクタまたは短絡コネクタ (赤 3P) をはずし、ドレンアップキットの異常信号線コネクタオス (赤 3P) を室内ユニット PC 板上の CN34 または CN030 (赤 3P) に接続します。
はずしたフロートスイッチ接続コネクタまたは短絡コネクタ (赤 3P) はドレンアップキットの異常信号線コネクタメス (赤 3P) に接続します。
- 集合ドレンアップで使用する場合は、同一系統のどれか 1 台の室内ユニットへ接続してください。
ただし、カスタム機種同時ツイン・トリプル・ダブルツイン接続時は、親室内ユニットに接続してください。



※室内ユニットのフロートスイッチとドレンアップキットの異常検出回路 (メイン・サブフロート両方) は、直列つなぎとなります。

3. 試運転

試運転は、必ずドレンポンプの電源を入れて行ってください。

運転確認

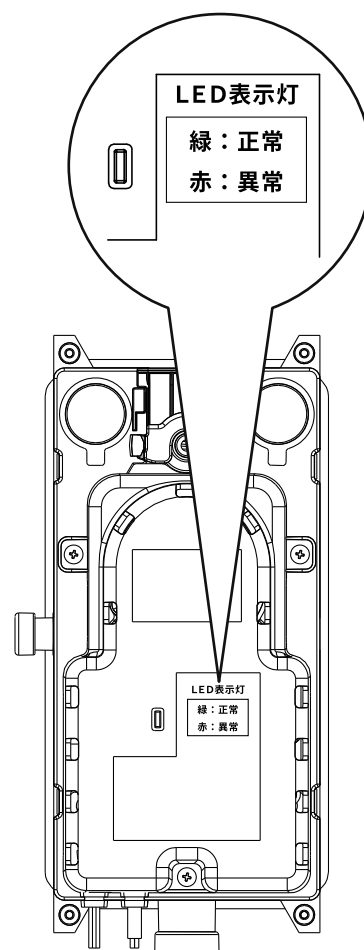
室内ユニットのドレンパンに水を少しずつ (約 1.6L) 入れ、ドレンポンプが運転を開始するのをご確認ください。(LED 表示: 緑点灯)
試運転時に排水が確実に行われていること、接続部からの水漏れがないことを確認してください。運転時間が 30 秒以上かかる場合はドレン出口管の折れ・詰まり・ドレンポンプの最大揚程を超えている場合がありますのでご確認ください。
ドレンポンプの最大揚程を超えている場合は最大揚程内におさめてください。

⚠ 注意

ドレンポンプへの注水量に気をつけてください。一度に大量の水を入れるとドレンポンプの排水量を上回り水漏れを起こします。必ず水を少しずつ入れて試運転を行ってください。

その他

試運転時、ドレンポンプの動作に異常がある場合は、「7. このようなときは」をご確認ください。
本紙は、必要な時にすぐ利用できる場所に保管してご使用ください。



4. 定期点検・メンテナンスについて

点検・メンテナンスは室内ユニットのご使用期間（シーズン前後）に実施してください。

ドレンアップキットの内部清掃は、ドレンアップキットのタンクをはずし、排水後に作業してください。

清掃作業はドレンパン内・ドレン入口配管・フロートスイッチに、油やゴミ・ドレンスライム・カビ・水あかなどの付着物がないよう清掃してください。

清掃作業後は、排水確認を実施し接続部などから漏れがないことを確認してください。

保守点検を実施しないと、油やゴミ・ドレンスライム・カビ・水あかなどによりドレンポンプが詰まり、室内ユニットの停止や水漏れに至るおそれがあります。

メンテナンスは、お買い上げの販売店もしくは専門の業者に依頼してください。

お願い

- 高圧洗浄機での洗浄はしないでください。
- 本体内部に基板があるため、清掃時に本体側へ水が入らないようにしてください。

ドレンポンプの点検方法

< 点検準備 >

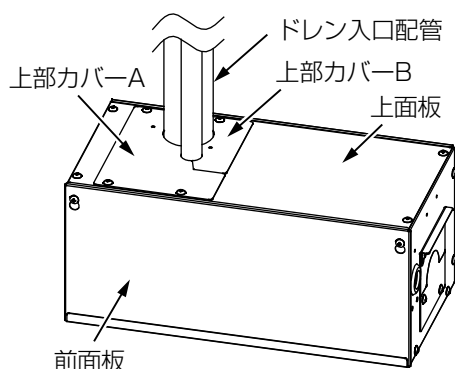
⚠ 警告

必ず室内ユニットの運転を停止し、電源ブレーカをオフにしてから作業してください

電源ブレーカをオフにしないと感電の原因になります。

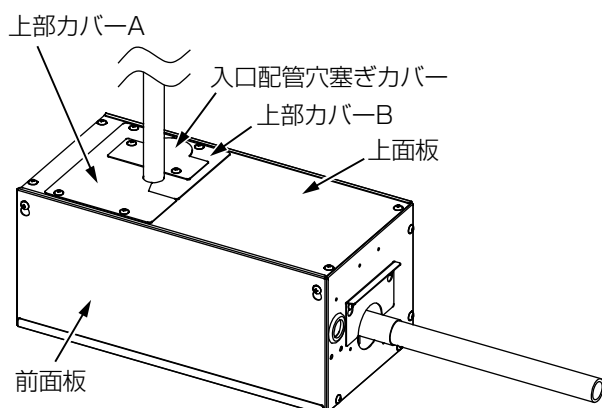
タンク上面配管時

1. 前面板（ねじ：2カ所）をはずします。
2. 上部カバーA（ねじ：3カ所）と上部カバーB（ねじ：1カ所）と上面板のねじ（ねじ：4カ所）をはずします。
3. ドレン入口配管を引き抜いてください。



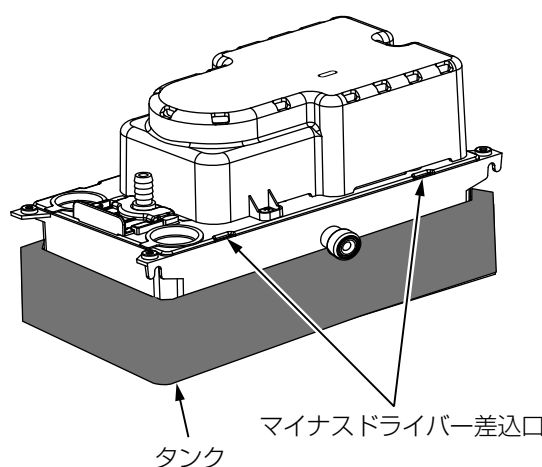
タンク右側面配管時

1. 前面板（ねじ：2カ所）をはずします。
2. 入口配管穴塞ぎカバー（ねじ：2カ所）と上部カバーA（ねじ：3カ所）と上部カバーB（ねじ：1カ所）と上面板（ねじ：4カ所）をはずします。（上面板はドレン出口配管があるため、完全にはずれません。）



< 点検方法 >

1. マイナスドライバーを矢印の箇所に差し込み、本体とタンクを分離させてください。



< 点検内容 >

1. フロートスイッチを手で動かしてみて、負荷や詰まりなどがないことを確認してください。
2. ドレンポンプのタンク内に溜まった汚れを洗い流してください。
3. ドレンホースの緩み・詰まりがないかご確認ください。
4. 点検後、必ずドレンポンプの試運転を行ってください。その際、ドレンポンプの電源は必ず入れてください。

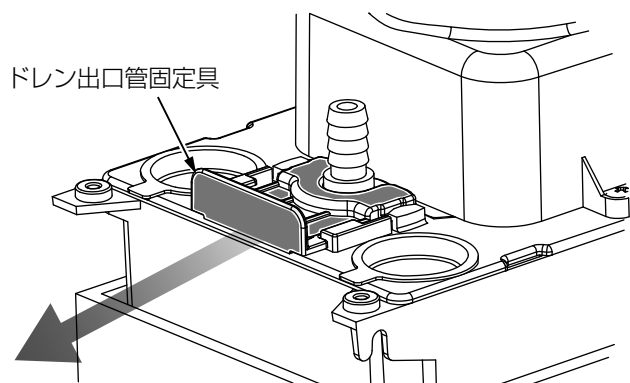
4. 定期点検・メンテナンスについて (つづき)

逆止弁のメンテナンス方法

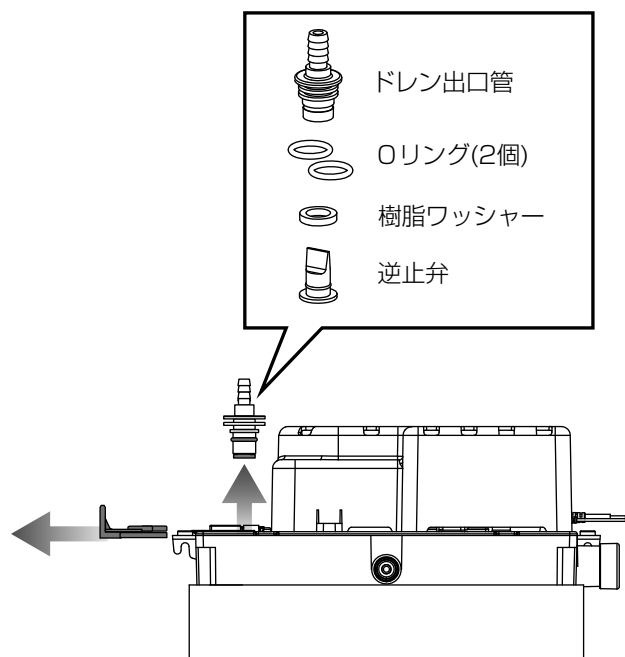
逆止弁が目詰まりしてドレンの排水が出来ない場合、またはドレンポンプが発停を繰り返す場合は、下記の手順で逆止弁を清掃してください。

< 取りはずしかた >

1. ドレン出口管固定金具を矢印方向に引き、ドレン出口管を引き上げて取りはずしてください。



2. 逆止弁と樹脂ワッシャーを出口管から取りはずしてください。

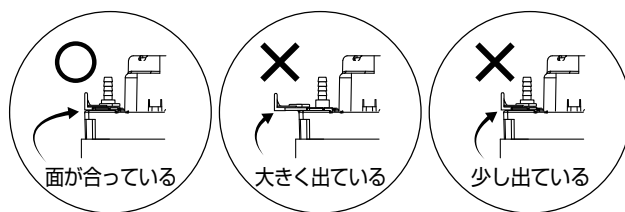


< 逆止弁のメンテナンス内容 >

1. 逆止弁に汚れがある場合は清掃してください。
汚れたまま使用すると、揚程低下や詰まりの原因になることがあります。
2. 逆止弁をドレン出口管にセットしてください。

< 逆止弁の取付手順 >

1. ドレン出口管をまっすぐドレンポンプの奥まで差し込みます。(斜めに差し込むとOリングが機能せず、水漏れの原因となります。)
2. ドレン出口管固定具を押してカチッと音がする位置まで差し込み、タンク側面とドレン出口管固定具の側面位置が合うようにしてください。



3. メンテナンス後は、必ずドレンポンプの動作テストを行い、ドレン出口管周辺から水漏れがないことをご確認ください。

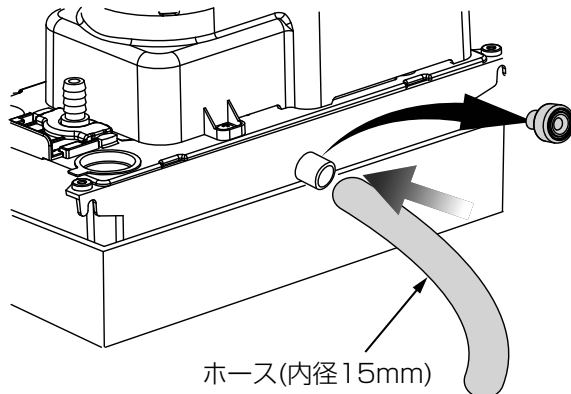
5. 緊急ドレン排水用ホース接続口について

緊急ドレン排水用ホース接続は、主に室内ユニットが停止できない状況でドレンポンプが故障、または詰まりなどで排水が出来なくなったとき、内径 15mm ホース（現地手配）を接続して、ドレンポンプのタンクからあふれるドレンを一時的に排水する応急処置を行うための接続口です。

下図の手順で作業を行ってください。

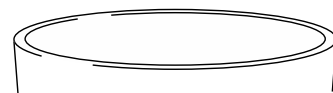
< 作業手順 >

1. ドレンポンプの電源を切ってください。
（室内ユニットから電源を取っている場合は、室内ユニットの電源を落としてください。）
2. ドレンアップキットの接続コネクタ メス（赤 3P）に接続されているフロートスイッチ接続コネクタをはずし、室内ユニット PC 板上の CN34（赤 3P）または CN030（赤 3P）へ接続します。（14 ページの「フロートスイッチの接続」を参考にしてください。）
3. 前面板（ねじ：2 カ所）をはずします。
4. 内径 15mm のホースを奥まで差し込んでください。
5. 流れ出てくるドレンを近辺の排水口などに流れるようにホースを引き回してください。



お願い

- キャップをはずしたときにドレンが勢いよく出てくる可能性があります。下にウエスなどを敷いてキャップをはずしてください。
- 上記手順は緊急時の応急処置です。処置後に「7. このようなときは」を参考に対策を行ってください。原因がわからない場合は、販売店または弊社までお問い合わせください。



6. 集合ドレンアップで使用する場合

⚠ 注意

複数の室内ユニットのドレンを集合して使用する場合、次のことを必ず守って取り扱ってください。誤った取り付けかたをした場合、水漏れの原因になることがあります。

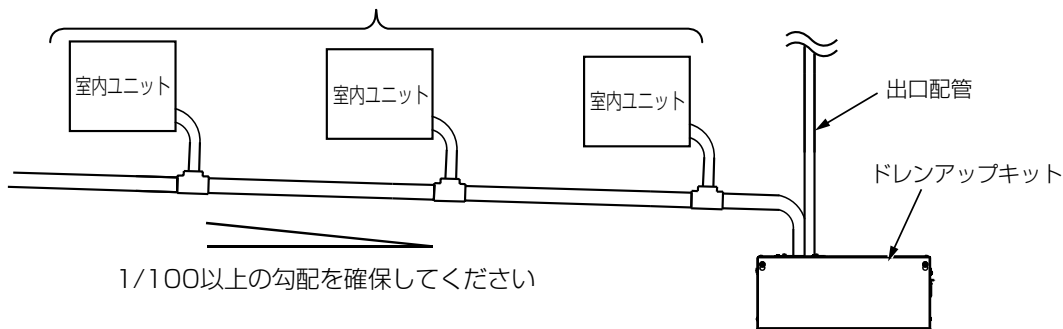
- ・能力ランク合計が P280 形（相当馬力 10）以下かつ合計台数 5 台以下までにしてください。
- ・外気処理エアコンのドレンは集合できません。（外気処理エアコン 1 台につき 1 台使用してください）
- ・ドレン集合は同一冷媒系統の室内ユニットに限ります。2 系統以上接続すると水漏れの原因になります。
- ・配線作業は、どれか 1 台の室内ユニットへ接続してください。（カスタム機種同時ツイン・トリプル・ダブルツイン接続時は、親室内ユニットに接続してください。）
- ・集合配管は排水容量を考慮して選定してください。
- ・集合配管はドレン水が流れるよう 1/100 以上の勾配を確保してください。

組み合わせ可能例

ドレンアップキット 1 台につき下記のような接続ができます。

- ・ 4 方向吹出しタイプ P80 形 (MMU-**80*H) 2 台と 2 方向吹出しタイプ P56 形 (MMU-**56*WH) 2 台の場合の能力ランク合計は P272 形
- ・ 4 方向吹出しタイプ P56 形 (MMU-**56*H) 5 台の場合の能力ランク合計は P280 形
- ・ 外気処理エアコン 1 台

能力ランク合計が P280 形 (相当馬力 10) 以下かつ合計台数 5 台以下



組み合わせ不可例

下記のような接続はできません。

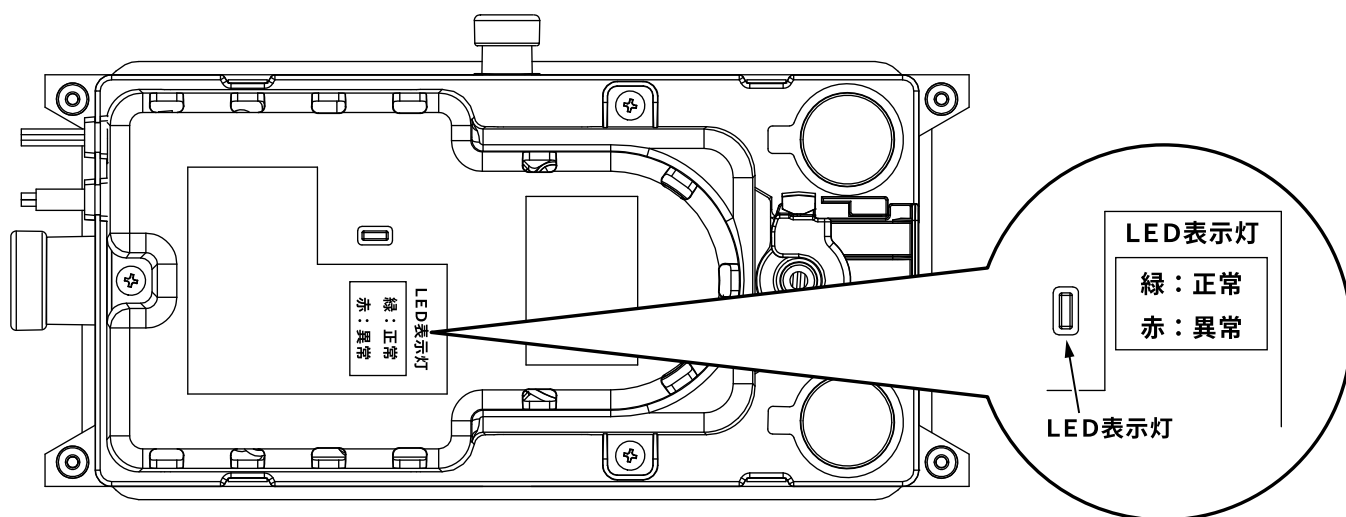
- ・ 室内ユニット 6 台以上
- ・ 室内ユニット能力ランク合計 P280 形を超える
- ・ 外気処理エアコン 2 台以上

7.このようなときは

ドレンポンプの故障により水漏れが発生していると思われる場合、または、リモコンにエラー信号「P10」が表示された場合、下表をご参照ください。（「P10」はドレンアップキットの異常により室内ユニットが停止している可能性があります。）

LED 表示灯	考えられる原因	対処方法
緑（点灯）※	入口配管または出口配管の接続不具合	水漏れ箇所を特定し、適切にご対処ください
赤（点灯） エアコンのリモコンは「P10」表示	排水能力不足、供給水過多	・ 試運転・仕様表をご確認ください
	逆止弁の詰まり	・ 供給水側水量が 60l/h を超えていないかご確認ください
	排水側の詰まり	・ ホースの折れ、配管の詰まりをご確認ください
赤（点滅） エアコンのリモコンは「P10」表示	制御回路不良、モータロック、メインフロート固着	販売元または弊社までお問い合わせください
表示灯がついていない	電源がきていない	電源配線の接続確認、別電源の場合は、ブレーカを確認してください

※ 点検時に緑点灯の場合は、赤点灯 / 赤点滅のあとに排水され、緑点灯に変わっている可能性があるため、LED を確認できる状態で試運転確認をお願いします。



お願い

排水不良時、ドレンポンプの不具合か排水管の不具合かを確認するには、内径 9mm で 1m ほどのホース（現地手配）をドレン出口管につなぎ、ドレンを問題なく排出できるか、バケツなどで受けてご確認ください。

お知らせ

本製品は、サービス部品をご用意しておりません。部品が故障したときは、ドレンアップキットを入手のうえ、交換をお願いします。

MEMO

